

事故周知・再発防止〔令和5年度発生事例〕

災害の種類	物損事故	工事区分	汚泥収集運搬業務委託
事故内容	汚泥運搬車両が道路構造物に接触	被災者	性別・年齢 —
被災状況	ボックスカルバート2箇所接触痕跡	職 業	—

〔災害の概要〕

□現場の状況：

下水汚泥の運搬

□事故の概要：令和5年5月26日（金）1:00

運転者は、運搬経路の途中で休憩をとるため「●●●●●●●●」に停車した。事故当日、雨模様であったことから積荷への雨水の混入を避けるためコンテナをダンプアップし休憩をとった。しかし、出発時にコンテナを降下させることを失念したことから、(●)●●●号BPのボックスカルバートにコンテナが接触した。

□安全対策の有無：有

運行前の車両点検の実施

〔再発防止策〕

□問題点：

① unnecessary ダンプアップ

・処分先までの運搬経路で必要のないダンプアップをしていた。

② 傾斜警報装置の整備不良

・コンテナの傾斜を感知して点灯する装置を設置していたが、日常的な点検がなされていなかったことから、配線不良により点灯しないことに気付かなかった。

③ 緊急時の連絡遅延

・受注者は業務時間外は発注者との連絡が不可能であると誤認していた。

□防止対策：① 運搬途中でのダンプアップ禁止

・運搬途中でのダンプアップを禁止し、事故内容について運行管理者から各ドライバーに注意喚起し再発防止に努める。(26日実施済み)

② 運行前に機器の動作確認

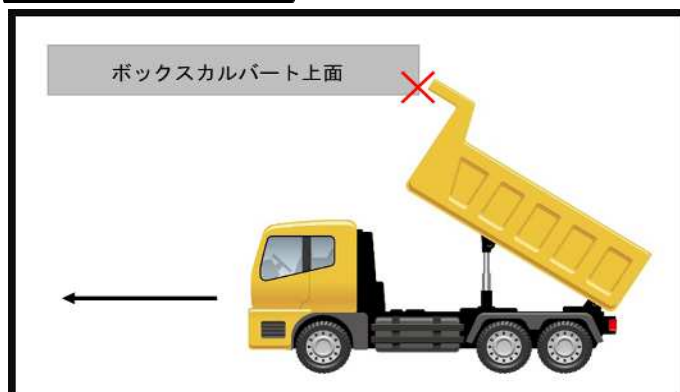
・毎日、運行前に車両及び搭載機器の動作確認を行い、点検表で管理する。
・警報装置が動作しなかった時点で、原因を調査し修理を行う。

③ 緊急時の情報伝達の迅速化

・業務実施計画書を変更し、時間外の連絡が可能であることを明記する。

〔事故の状況が分かる写真または図面〕

ダンプアップイメージ



事故周知・再発防止〔令和5年度年度発生事例〕

〔事故の状況が分かる写真または図面〕

事故後現場写真

